



一番茶に向けた準備期間です

茶指導販売課 菊川



今月は、一番茶の摘採に向けて準備を進め
る時期になります。

厳しい寒さが続きますが、一番茶となる越
冬芽は少しずつ休眠から目覚め、生育を始め
ます。茶園の状況をよく見て、生育に合った
管理を行いましょう。

春整枝について

令和7年度の秋については、11月以降の気
温がやや低く推移したため再萌芽した茶園は
あまり多く見られませんでした。しかし、早
い時期に秋整枝を行ったところなど状況に
よつては整枝を行う必要がありますので、茶
園をよく観察して管理を行いましょう。

【再整枝（化粧ならし）】

再萌芽が多く見られた茶園で行います。

時 期 … 2月下旬～3月上旬頃
整枝位置 … 整枝面を軽くならす程度
【春整枝】

秋整枝を行わなかつた茶園で行います。

時 期 … 2月下旬～3月上旬

整枝位置 … 三番茶未摘採園では二番茶の摘採
面から4～6cm上の高さ

三番茶摘採園では摘採面を軽くならす程度

春肥（1回目）の施用

春肥は主に、一番茶の収量・品質を向上させ
るため施用します。肥料成分を効率よく吸
收できるように、適期施肥を行いましょう。
また、施肥後は土壤とよく混和させることが
大切です。

施 肥 量 … 年間施肥量に対しても窒素50%
・リン酸・カリ30%（目安）

使 用 資 材 … 5JA共通さかな配合 など

※近年、乗用型管理機の使用によって土壤が
硬い茶園や、耕うんが不十分な茶園などが
増えています。有機質肥料と組み合わせて
施用し、土壤の物理性・化学性・生物性の
バランスを整えて気象の変動に強い茶樹づ
くりを心がけましょう。